



(問) 私は海岸地帯で祖先から受け継いだ農地を営々として耕作している一農民です。この一帯の海岸堤防は相当古いのので、いつ欠壊して災害を受けるかわかりません。台風期にはいつでも心を痛めています。県計画によれば、海岸堤防についても相当のご計画があるようですが、もつとわかりやすく県の考えをお知らせください。

(八代郡鏡町北新地土改夏区 一組合員)

(答) 本県の海岸線はご承知のとおり有明海、不知火海それに天草島の海岸とからなり、海岸堤防の総延長は八二〇キロに達しています。

このうち、農耕地を護る「農地保全海岸」は七二・七キロで、県計画では昭和四十年までに堤防一四カ所、堤防九・七キロの事業を、危険度の高い地区から順次実施し、昭和四十一年度から四十五年度までに十一地区の堤防約八千米を計画しています。

この事業の概要を簡単に申し上げますと、有明海沿岸の玉名地区海岸は昭和三十五年度から国の直轄事業として堤防一六、四〇〇米、樋門五カ所、突堤三カ所を昭和三十九年度までに完了する予定です。

以上の計画で、老朽化した堤防約八千米を計画しています。



防の漏水や溢水等の被害を防ぎたい。台風時期に波があつても絶対に堤防が破壊しないようにしたい。

(耕地二課)

(問) 私は、今年の三月まで熊本市内の小さな会社に勤めていたが、会社がつぶれたため、いま職業安定所に日参して、新しい職をさがしている一失業者です。

失業してはじめて、県の職業安定行政とか就職対策に大きな期待をもつようになりました。そこで、熊本県の失業者に対する就職対策はどう進められているのか、おたずねします。

(熊本市大江町本 一失業者)

(答) お困りのご様子、お察しします。ところで、わが国の経済界の発展とともに、本県でも既に求人難の声も一部では聞かれる程で、職を求めめる人々にとっては嬉しい傾向になつてきました。

しかし、このような傾向は、若い人々の話で、日雇労働者や壮年以上の人々にとってははい変わらず就職難の状態が続いており、石炭鉱業からは、引き続き離職者が出ている現況です。

そこで本県では、市町村や関係機関に対して求人情報をはやくくしらせるとともに「職業安定協力員」を活用して、あなたのように職を探している人々を適

うに計画し、沿岸の皆さんの不安を除くよう努めています。

(耕地二課)

(問) 私は、今年の三月まで熊本市内の小さな会社に勤めていたが、会社がつぶれたため、いま職業安定所に日参して、新しい職をさがしている一失業者です。

失業してはじめて、県の職業安定行政とか就職対策に大きな期待をもつようになりました。そこで、熊本県の失業者に対する就職対策はどう進められているのか、おたずねします。

(熊本市大江町本 一失業者)

めとし、その他の一般職業訓練所への入所をあつ旋しています。

そして技能を習得させて、県内の事業所に就職あつ旋するのはもちろん、京浜、阪神、中京方面へも強力な手を打つて紹介・あつ旋を行っています。

そのほか、求人をつやすために商工業その他の産業の振興に努めるとともに、工場・事業場の誘致を積極的に進めています。

また、県外における求人確保の対策としては、阪神、中京地区の求人開拓のため、大阪市に常駐の駐在員、名古屋市に期間駐在員を派遣しています。

既に鉄鋼、電気機器、自動車等の製造工業その他運輸業、繊維産業等からたくさんの方々が求めていますので、県下の公共職業安定所で選考を行っています。

これからも、県外からの求人申し込みは自分の間続と思われませんが、そのために、県内に就職する人々が著るしく足らなくなるおそれがありますので、県内の事業所に対しては、労働条件の向上をはじめ、福利厚生施設や労務管理等の改善を積極的に進めて、県内で有利に働くことができるような職場環境をつくりあげるように、お願いしています。

(職業安定課)



(問) 県計画では家族計画を取り上げてありますが、現在、小学校の生徒数は目に見えて少くなる程出生数は減っていますし、一方、労働力の不足が経済成長のブレーキになつていないと聞きます。それを抑制しなければならぬのでしょうか。

(玉名市繁根木 一主婦)

(答) まず「家族計画」とは人口増加を抑制する対策であるという考え方を改めて下さい。

ほんとうの「家族計画」のねらいは、「健康で文化的な生活ができるように、欲しい子供を欲しい時に産み、くらし方を合理化していく」ということです。

そうして「家族計画」をおこなうことによつて生活を合理化して、ゆとりのある時間と健康を、よりよい家庭、よりよい社会をつくりあげるための努力にふりむけていくというのがそのねがいなのです。

たしかに熊本県の出生数はここ数年の間にだんだんと低下して、戦後最高の昭二十二年六一・二一三人から昭三十四年三三・八一六八へと減少していま

計画的に

立派な子供を

ご婦人の中には、この人工中絶も「家族計画」の一方法だと考えておられる方もあるかもしれませんが、とんでもないこと

計画的に素質の立派な子供を産むというのが「家族計画」であつて、できたつばみを摘みとることは決して正しい「家族計画」ではありません。

年子を持つて苦勞されたお母さんも多いでしょう。なかには、これは大へんと人工妊娠中絶をした人もあるでしょう。

こうした苦しみを味わわなくてすむように、はじめから「家族計画」をしつかりやつて、い

熊本県は全国一の海外移住者も多数の人々が中南米へ移住し、現地での活躍はめざましい。

だが県民の大多数は、まだ中南米の事情をよく知っていないというのが実情。そこでこのたび熊日、県、熊本海外協会の共催で、盛大に「ブラジル展」を開催して県民の海外発展の意欲を盛りあげようというものである。

(入場無料)

▽期日：九月八日から十七日まで

▽会場：熊本大洋デパート七階ホール

・映画会
カラー「希望の国ブラジル」その他。

・日伯親善児童図画の交換
県下小学生の図画はすでに発送。

・ブラジルの児童の図画約二百点も到着している。

盛大に『ブラジル展』

コーヒー・コーナーも特設

9月8日→17日

・ラテン・アメリカ音楽会
ラテン・アメリカ音楽の権威者を招いて、解説と観賞

・海外移住相談
県と海外協会から係員が出て、いろいろな相談に応ずる。

・コーヒー接待
ブラジルから香り高いコーヒーがはるばる到着。来場者に無料でサービスされる。

・講演会
外務省移住局長や県移住課長が現地の模様をくわしく紹介。

▽展覧会出品物
現地のパノラマをはじめ、現地産のハゲタカやクモザルもおめみえするほか、沢田副知事や鳩野移住課長などが、ブラジルを廻つてしゅう集してきた民芸品や写真、工芸品、農工・水産関係の機具や見本、その他多数が展示される。